

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 8日更新

事務事業名		こころの健康事業			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	健康福祉部
	施策	6	健康づくりの推進		所属課	健康ほけん課
	業務分野	22	病気の早期発見		所属班	健康づくり班
予算科目		会計一般	款4	項1	目1	事業連番10365
				法令根拠	精神保健福祉法	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	毎月1回、精神科医師による相談事業を実施している。広報誌・すこやかカレンダー・ホームページ・チラシ等により周知をする。関係各課にも周知を行う。電話や来所(予約制)で、本人や家族による相談を受ける。平成14年度までは県が実施主体であった精神保健に関する事業の一部が市町村に移管されたことに伴い、相談事業を強化する目的で専門医をスタッフに含めた体制とした。相談者数は年間10人程度であるが、病院まで行けない人や対応に困っている家族への支援に寄与している事業である。令和6年度より、こころの相談事業からこころの健康事業に名称変更。
【業務の流れ】	相談事業は、電話及び窓口相談により解決しない場合、設けた相談日で予約を受け相談を実施する。日程・時間は予約制である。
【主な予算費目】	委託料

(1)事務事業の振り返り・計画
 ①6年度事務事業の成果・実績
 予約制(原則月1回)で精神科医に対応した。令和6年度上半期は予約はあったもののキャンセルとなり、実施には至らなかったが、下半期は4名の相談実施となった。また下半期はキャンセルも含めると月に1回程度予約の電話が入ることが多かった。
 【令和6年度実績】相談者4名。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容) ③予算の主な増減の理由
 年間7回の実施、1回の相談日で2組まで相談可能。

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 受診をすすめた人の数	人	委託専門医からの報告
イ 相談を受けて方向性が見えた人の割合	%	委託専門医からの報告

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア 人		8	8	4	2	4	4	4	4
	イ %		100	100	100	100	100	100	100	100
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円	44	61	102	29	29	29	29	29
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
一般財源	千円	76	115	52	37	125	125	125	125	
(A) 事業費計	千円	120	176	154	66	154	154	154	154	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)
 相談日が決まっていることもあり、タイムリーに相談につなげることができない場合もあった。しかし、身近にある相談できる場所として今後も周知を行い、必要としている人が活用できるよう、今後も実施していく。

(4)今後の事業の方向性
廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)